

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

（住所）西東京市南町6-9-37

（電話）042-462-2811

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



動物の鳴き声は

先日の合唱コンクールでは、ホールに響き渡る歌声の美しさはもちろんのこと、生徒たちの一生懸命がひしひしと伝わる素晴らしいものになりました。「さすが、一中生だな」と思わせる良い合唱コンクールでした。

さて、今回は人の受け取り方の違いについてのお話です。

いきなりですが、犬はどのように鳴きますか？ もちろん、「ワン ワン」ですね。小さい子供は犬のことを「ワンワン」と呼んだりして、その動物の呼び名になっていたりします。では、羊は？ そう、「メエ メエ」と鳴きます。このように動物の鳴き声のことを擬声語（擬音語）というのですが、アメリカでは、犬は「ラフ ラフ」、羊は「バー バー」と鳴くのだそうです。では、日本とアメリカでは犬や羊の種類が違うのでしょうか？ また、動物たちも、それぞれの国の言葉で鳴いたりするのでしょうか？

もちろん、そんなことはありません。同じ種類の動物たちは、世界のどこにいても同じ声で鳴いています。日本とアメリカで鳴き方が異なるのは、聞く側の聞き方が違うからです。

これと同じことは、世の中にはたくさんあります。同じことを見たり聞いたりしても、どのように聞こえるか、どのように見えるか、どのように感じるかは、聞いた人や見た人によっていろいろだということです。同じ鳴き声を聞いても、「メエ メエ」と聞こえる人もいれば、「バー バー」と聞こえる人もいます。大切なのは、みんなが同じではないということを常に頭に入れておくことです。自分ではよいと思っても、また自分では何ともないことでも、それをよく思わなかったり、辛いなと感じたりする人もいます。自分が何かを言ったり行動したりするときには、相手のことにも思いを巡らせ、自分との違いを理解することが大切です。

また、違いがわかれば、自分もそのように考えてみてはどうでしょう？ 例えば、犬の鳴き声を「バウ バウ」と聞いてみたり、羊が「バー バー」と鳴いているように聞いてみたりすると、だんだんそのように聞こえてくるのではありませんか。そうすることで、自分自身のものの見方や考え方が広がることにもつながります。つまり、相手を理解しようとすることは、自分自身の視野を広げ、成長にもつながっていくのです。

東京都では6月と11月を「ふれあい月間」として、いじめ防止や子どもたちの健全育成を目指した取り組みを行っています。たくさんの人たちと社会生活を送っていく上では、ぶつかったり、思い通りにいかなかったりすることもあるでしょう。けれども、学校は安心・安全な場所でなければなりません。一中でも「ふれあいアンケート」を実施して、悩みや困っていることを共有し、その解決に向けて力を尽くしていきます。どうか、悩みや困りごとは、自分一人で抱え込まずに、相談してください。

【全学年】合唱コンクール（10月22日）

10月22日（水）に、狭山市市民会館にて合唱コンクールが行われました。今年度初めて使用するホールということもあり、期待と不安を抱えながら実行委員が中心となって準備を重ねました。当日は、どのクラスも練習の成果を発揮し、ステージ上でびのびと歌うことが出来ました。

保護者の方々におかれましては、ご多用の中合唱コンクールへのご参観ありがとうございました。各学年入れ替え制での参観ということでご迷惑をおかけする部分が多かったと思いますが、ご協力、誠にありがとうございました。



【3学年】進路説明会（10月8日、15日）

第2回進路説明会は、生徒向けと保護者向けにわけて、実施しました。

生徒向けでは、まず進路決定は自分自身で決めることの大切さから話をしていきました。

そして、昨年度の入試の結果の分析、第1志望で都立を希望するものが減少したことなどを説明しました。その後、資料を使って都立・私立の選抜方法の違い、推薦についての話などをしていきました。

保護者向けでは、今後のスケジュール、これから提出してもらう書類の締め切り、受験写真について確認をしました。

そして、三者面談第3回が最後であることを説明させていただきました。



【生徒会】エコキャップ（10月8日）

本校では、生徒会を中心に環境教育の一環として実施している「エコキャップ回収活動」に、日頃より多くのご家庭の皆さまにご協力をいただき、心より御礼申し上げます。おかげさまで、今回は78.4kgのキャップが集まりました。

西東京市内にあるアニメ制作会社エクアラニマルさんを通じて、「世界の子供にワクチンを日本委員会」に送っていただき、各国にポリオワクチンとして届けられます。

お手数おかけいたしますが、ご家庭でキャップをお持ちいただく際は、中を軽く洗い、しっかり乾かしてからお持ちください。水分が残っているとカビの原因となり、リサイクル工程に支障が出るため、ご理解とご協力をお願いいたします。本校では、2階横に設置している回収箱に随時入れていただけます。

